

プログラム

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 9:30～9:40

開会式

【代表世話人】工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）

【当番世話人】森山 光彦（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野）

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 9:40～10:10

基調講演

共催：東和薬品株式会社

【司 会】小池 和彦（公立学校共済組合 関東中央病院）

肝がん発生および再発の背景について

日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野

○森山 光彦

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 10:10～11:10

スポンサードシンポジウム

共催：武田薬品工業株式会社

肝癌に対する分子標的薬治療の最前線

【司 会】沖田 極（周南記念病院）

工藤 正俊（近畿大学医学部 消化器内科学）

基調講演 1 Early から intermediate stage における肝細胞癌薬物療法の最前線

近畿大学医学部 消化器内科学

○工藤 正俊

基調講演 2 Advanced stage における肝細胞癌薬物療法の最前線：

国立がん研究センター東病院 肝胆臓内科

○池田 公史

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 11:10～11:50

プレナリーセッション 1 多施設共同

【司 会】市田 隆文（医療法人 社団康心会湘南東部クリニック 肝臓病センター）

國土 典宏（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 外科）

PS1-1 Prognostic and predictive factors with ramucirumab in advanced hepatocellular carcinoma and elevated alpha-fetoprotein: two Phase III trials

¹近畿大学医学部・大学院 医学研究科、²Mount Sinai Liver Cancer Program, Division of Liver Diseases, Tisch Cancer Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA、³Department of Internal Medicine, UT Southwestern Medical Center, Dallas, TX, USA、⁴Villanueva Lab, Division of Liver Diseases, Department of Medicine, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, NY, USA、⁵Division of Hematology/Oncology, University of California, Los Angeles, CA, USA、⁶Department of Internal Medicine, Mainz University Medical Center, Mainz, Germany、

⁷Eli Lilly and Company, Indianapolis, IN, USA、⁸Massachusetts General Hospital Cancer Center, Harvard Medical School, Boston, MA, USA

○工藤 正俊¹、Llovet, Josep M.²、Singal, Amit G.³、Villanueva, Augusto⁴、
Finn, Richard S.⁵、Galle, Peter R.⁶、Wang, Chunxiao⁷、Widau, Ryan C.⁷、
Gonzalez Gugel, Elena⁷、Zhu, Andrew X.⁸

PS1-2 REACH-2 expansion: ramucirumab for advanced hepatocellular carcinoma and elevated alpha fetoprotein after non-sorafenib systemic therapy

¹金沢大学 先進予防医学研究センター、²University of California, Los Angeles, California, United States、
³Department of Medicine II, University Hospital, LMU Munich、⁴Department of Pediatrics and Adolescent Medicine, The University of Hong Kong, Hong Kong、⁵Department of Internal Medicine, National Cheng Kung University Hospital, College of Medicine, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan、⁶Department of Oncology, National Taiwan University Hospital, Taipei City, Taiwan、⁷Department of Clinical Oncology, State Key Laboratory of Translational Oncology, The Chinese University of Hong Kong, Shatin, Hong Kong、⁸Lombardi Cancer Center, Georgetown University Hospital, Georgetown University, Washington, D.C., United States、⁹University Medical Center, Mainz, Germany、¹⁰Goethe University Hospital and Cancer Center, Frankfurt, Germany、¹¹University Hospital Inselspital and University of Bern, Bern, Switzerland、¹²Sutter Health California Pacific Medical Center, San Francisco, California, United States、¹³FDI Clinical Research, San Juan, Puerto Rico、¹⁴Massachusetts General Hospital Cancer Center, Boston, Massachusetts, United States、¹⁵Eli Lilly and Company, Indianapolis, Indiana, United States、
¹⁶Jiahui International Cancer Center, Shanghai, China

○山下 竜也¹、Finn, Richard C²、De Toni, Enrico N³、Yau, Thomas Chung Cheung⁴、
Yen, Chia-Jui⁵、Hsu, Chih-Hung⁶、Chan, Stephen L.⁷、He, Aiwu Ruth⁸、
Galle, Peter⁹、Trojan, Jörg¹⁰、Stirnemann, Guido¹¹、Baron, Ari¹²、
Acosta-Rivera, M¹³、Goyal, Lipika¹⁴、Wang, Chunxiao¹⁵、Abada, Paolo¹⁵、
Widau, Ryan¹⁵、Zhu, Andrew X.^{14,16}

PS1-3 Sequential 治療におけるラムシルマブの位置づけ—多施設共同研究—

¹武蔵野赤十字病院 消化器科、²旭川赤十字病院 消化器内科、³高松赤十字病院 消化器科、
⁴松山赤十字病院 肝胆膵内科、⁵姫路赤十字病院 内科、⁶益田赤十字病院 内科、⁷京都第一赤十字病院 消化器内科、
⁸広島赤十字・原爆病院 消化器内科、⁹伊勢赤十字病院 肝臓内科、¹⁰石巻赤十字病院 消化器内科、
¹¹高槻赤十字病院 消化器内科、¹²松江赤十字病院 消化器内科、¹³大津赤十字病院 消化器科、
¹⁴鳥取赤十字病院 内科

○安井 豊¹、黒崎 雅之¹、土谷 薫¹、早川 優香¹、長谷部 千登美²、阿部 真美²、小川 力³、
上甲 康二⁴、多田 俊文⁵、中村 進一郎⁵、古田 晃一朗⁶、木村 浩之⁷、辻 恵二⁸、
小島 裕治⁹、赤羽 武弘¹⁰、玉田 尚¹¹、内田 靖¹²、近藤 雅彦¹³、満田 朱理¹⁴、泉 並木¹

PS1-4 切除不能肝臓に対する2次治療後の post-progression survival 延長の予測因子：
レゴラフェニブ導入例における多施設共同研究

¹群馬県済生会前橋病院 消化器内科、²愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、³姫路赤十字病院 内科、
⁴香川大学 消化器内科、⁵日本医科大学 消化器・肝臓内科、⁶富山大学 消化器内科、
⁷松山赤十字病院 肝胆膵センター、⁸前橋赤十字病院 消化器内科、⁹岡山市民病院 肝臓内科、
¹⁰手稲溪仁会病院 消化器内科、¹¹大阪医科大学 消化器内科、¹²済生会新潟病院 消化器内科、
¹³旭中央病院 消化器内科、¹⁴愛媛大学 消化器代謝内分泌内科、¹⁵大垣市民病院 消化器内科、
¹⁶高松赤十字病院 消化器内科、¹⁷鹿児島市立病院 消化器内科、¹⁸高崎総合医療センター 臨床研究部、
¹⁹岐阜協立大学 看護学科、²⁰RELPEC/HCC48/GLSG

○畑中 健^{1,20}、平岡 淳^{2,20}、多田 俊史^{3,20}、谷 丈二^{4,20}、厚川 正則^{5,20}、田尻 和人^{6,20}、
越智 裕紀^{7,20}、滝澤 大地^{8,20}、狩山 和也^{9,20}、辻 邦彦^{10,20}、福西 新弥^{11,20}、石川 達^{12,20}、
糸林 詠^{13,20}、広岡 昌史^{14,20}、豊田 秀徳^{15,20}、小川 力^{16,20}、玉井 努^{17,20}、柿崎 暁^{18,20}、
熊田 卓^{19,20}

第 1 会場 (3F メインホールおよびオンライン) 12:00 ~ 12:50

ランチョンセミナー①

共催: 中外製薬株式会社

【司 会】高山 忠利 (日本大学 副学長・日本大学総合科学研究所)

LS1-1 肝細胞癌治療の Up to Date —アテゾリズマブ+ベバシズマブの登場—

藤田医科大学 消化器内科

○葛谷 貞二

LS1-2 切除不能肝細胞癌治療の新展開～実臨床でのアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法～

武蔵野赤十字病院 消化器科

○土谷 薫

第 1 会場 (3F メインホールおよびオンライン) 13:00 ~ 13:50

ランチョンセミナー②

共催: エーザイ株式会社 / MSD 株式会社

肝細胞癌の最新知見

【司 会】泉 並木 (武蔵野赤十字病院)

LS2-1 肝細胞癌の腫瘍・免疫微小環境のサブクラス診断

慶應義塾大学 医学部病理学教室

○坂元 享宇

LS2-2 Positioning of Lenvatinib in the Era of Immunotherapy

近畿大学医学部 消化器内科

○上嶋 一臣

第 1 会場 (3F メインホールおよびオンライン) 14:00 ~ 14:20

第 11 回沖田賞授賞式

第 1 会場 (3F メインホールおよびオンライン) 14:30 ~ 15:20

コーヒーブレイクセミナー

共催: アヅヴィ合同会社

【司 会】中馬 誠 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター)

CS-1 肝癌分子標的治療時代における C 型肝炎治療の意義

—肝発癌・再発抑制及び肝予備能改善・維持の重要性—

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 肝臓内科

○川村 祐介

第 1 会場 (3F メインホールおよびオンライン) 15:30 ~ 16:30

シンポジウム

SVR 後発癌の知見とその予後

【司 会】黒崎 雅之 (武蔵野赤十字病院)

中尾 一彦 (長崎大学病院 消化器内科)

S-1 SVR 後の肝発癌および生命予後の検討

東京医科歯科大学 消化器内科統合教育機構

○中川 美奈

S-2 C型慢性肝疾患におけるSVR後肝発癌リスク因子と生命予後の検討

大阪大学大学院医学系研究科 内科系臨床医学専攻消化器内科学

○田畑 優貴、阪森 亮太郎、竹原 徹郎

S-3 SVR後発癌の知見とその予後

¹久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門、²佐賀中部病院 内科、³久留米大学医療センター 消化器内科

○中野 聖士^{1,2}、古賀 浩徳¹、井出 達也^{1,3}、鳥村 拓司¹

S-4 C型肝炎SVR後の発癌リスク解析および発癌例の治療

武蔵野赤十字病院 消化器科

○安井 豊

S-5 C型肝炎SVR後初発肝細胞癌の特徴・予後とリスク評価の問題点

大垣市民病院 消化器内科

○豊田 秀徳

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 16:30～18:10

サテライトセミナー

共催：アストラゼネカ株式会社

肝細胞癌治療におけるパラダイムシフト～薬物治療の現状と今後の展望～

【司 会】坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院 内科学講座 消化器内科学教室）

SS-1 分子免疫プロファイルに基づいた肝細胞がんに対する薬物療法の治療戦略

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

○小玉 尚宏

SS-2 肝細胞癌に対する薬物療法の現状と課題

愛媛県立中央病院 消化器病センター内科

○平岡 淳

第1会場（3Fメインホールおよびオンライン） 18:15～19:05

プレナリーセッション2 多施設共同

【司 会】吉治 仁志（奈良県立医科大学 消化器内科学講座）

金子 周一（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科・医薬保健学域医学類 消化器内科学）

PS2-1 切除不能肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法（TACE）とLenvatinibの併用療法
第Ⅱ相臨床試験（TACTICS-L）：中間解析結果

¹済生会新潟病院、²近畿大学病院、³山口大学医学部附属病院、⁴自治医科大学附属病院、⁵広島大学病院、
⁶仙台医療センター、⁷愛知県がんセンター、⁸九州医療センター、⁹仙台厚生病院、¹⁰兵庫県立がんセンター、
¹¹長崎大学病院、¹²国立がん研究センター東病院、¹³京都府立医科大学附属病院、¹⁴名古屋大学医学部附属病院、
¹⁵虎の門病院分院、¹⁶久留米大学病院、¹⁷川崎医科大学附属病院、¹⁸虎の門病院、¹⁹広島大学病院未来医療センター

○石川 達¹、上嶋 一臣²、佐伯 一成³、森本 直樹⁴、相方 浩⁵、田邊 暢一⁶、稲葉 吉隆⁷、
和田 幸之⁸、近藤 泰輝⁹、津田 政広¹⁰、中尾 一彦¹¹、池田 公史¹²、森口 理久¹³、
葛谷 貞二¹⁴、小林 正宏¹⁵、古賀 浩徳¹⁶、日野 啓輔¹⁷、鈴木 義之¹⁸、吉村 健一¹⁹、
工藤 正俊²

PS2-2 免疫チェックポイント阻害剤が効きにくい非ウイルス性症例に対するレンバチニブの治療成績：多施設共同研究

¹群馬県済生会前橋病院 消化器内科、²高崎総合医療センター 臨床研究部、
³群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学、⁴伊勢崎市民病院 内科、⁵渋川医療センター 消化器内科、
⁶桐生厚生総合病院 内科、⁷前橋赤十字病院 消化器内科、⁸高崎総合医療センター 消化器内科、
⁹群馬大学総合外科学講座 肝胆膵外科分野

○畑中 健¹、柿崎 暁^{2,3}、上野 敬史⁴、長島 多聞⁵、竝川 昌司⁶、戸島 洋貴³、滝澤 大地⁷、
長沼 篤⁸、新井 弘隆⁷、播本 憲史⁹、調 憲⁹、浦岡 俊夫³

PS2-3 進行肝細胞癌に対するレンバチニブの有効性と安全性に関する検討—多施設共同研究—

¹奈良県立医科大学 消化器代謝内科、²天理よろづ相談所病院、³近畿大学奈良病院、⁴奈良県総合医療センター、
⁵ベルランド総合病院、⁶奈良県西和医療センター、⁷南奈良総合医療センター、⁸済生会中和病院、⁹国保中央病院、
¹⁰医真会八尾総合病院

○下里 直隆¹、浪崎 正¹、大花 正也²、川崎 俊彦³、中谷 敏也⁴、安 辰一⁵、吉田 太之⁶、
沢井 正佳⁷、上田 重彦⁸、吉川 雅章⁹、鶴 蘭 卓也¹⁰、吉治 仁志¹

PS2-4 アテゾリズマブ / ベバシズマブ併用療法早期治療効果と予備能変化（多施設共同研究）

¹愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、²岐阜協立病院 看護学科、³姫路赤十字病院 消化器内科、
⁴愛媛大学 消化器・代謝・内分泌内科、⁵岡山市民病院 肝臓センター、⁶香川大学 消化器内科、
⁷日本医科大学 消化器内科、⁸香川県立中央病院 肝臓内科、⁹旭中央病院 消化器内科、¹⁰大阪医科大学 消化器内科、
¹¹手稲溪仁会病院 消化器病センター、¹²済生会新潟病院 消化器内科、¹³富山大学 消化器内科、
¹⁴松山赤十字病院 肝胆膵センター、¹⁵大垣市民病院 消化器内科、¹⁶高松赤十字病院 消化器内科、
¹⁷済生会前橋病院 消化器内科、¹⁹兵庫医科大学 消化器内科、¹⁹RELPEC/HCC48

○平岡 淳^{1,19}、熊田 卓^{2,19}、多田 俊史^{3,19}、広岡 昌史^{4,19}、狩山 和也^{5,19}、谷 丈二^{6,19}、
厚川 正則^{7,19}、高口 浩一^{8,19}、糸林 詠^{9,19}、福西 新弥^{10,19}、辻 邦彦^{11,19}、石川 達^{12,19}、
田尻 和人^{13,19}、越智 裕紀^{14,19}、豊田 秀徳^{15,19}、小川 力^{16,19}、畑中 健^{17,19}、能祖 一裕^{5,19}、
飯島 尋子^{18,19}、日浅 陽一^{4,19}

PS2-5 切除不能進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の real world データを用いた初期使用経験—多施設後ろ向き解析—

¹久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門、²岩本内科医院

○岩本 英希^{1,2}、下瀬 茂男¹、城野 智毅¹、野田 悠¹、岡村 修祐¹、蒲池 直紀¹、鈴木 浩之¹、
黒松 亮子¹、新関 敬¹、古賀 浩徳¹、鳥村 拓司¹

第 1 会場（3F メインホールおよびオンライン） 19：10～19：20

閉会式・次回当番世話人挨拶

【次回当番世話人】矢野 博久（久留米大学医学部 病理学講座）

【当番世話人】森山 光彦（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野）

一般演題①

レンバチニブ1

【司 会】田中 真二 (国立大学法人 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子腫瘍医学分野)

- OS1-1 レンバチニブ治療による肝切除を目指した conversion therapy の可能性の検証
¹ 京都大学 肝胆膵・移植外科、² 京都大学 消化器内科
○西尾 太宏¹、小山 幸法¹、小木曾 聡¹、楊 知明¹、福光 剣¹、石井 隆道¹、恵荘 裕嗣²、高井 淳²、高橋 健²、瀬尾 智¹、田浦 康二郎¹、妹尾 浩²、波多野 悦朗¹

- OS1-2 全身治療導入肝細胞癌における背景肝と治療効果
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学、² 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学、³ 大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学
○打田 佐和子¹、小田桐 直志¹、萩原 淳司¹、武藤 芳美¹、小谷 晃平¹、小塚 立蔵¹、元山 宏行¹、木村 健二郎²、川村 悦史¹、藤井 英樹³、天野 良亮²、田中 肖吾²、榎本 大¹、竹村 茂一²、田守 昭博¹、久保 正二²、河田 則文¹

- OS1-3 術後再発肝細胞癌に対するソラフェニブ、レンバチニブの治療成績
北海道大学 消化器外科 I
○旭 火華、神山 俊哉、柿坂 達彦、折茂 達也、長津 明久、相山 健、坂本 譲、蒲池 浩文、武富 紹信

- OS1-4 EOB-MRI 肝細胞相高信号の肝細胞癌に対するレンバチニブの治療効果の検討
飯塚病院 肝臓内科
○栗野 哲史、長澤 滋裕、森田 祐輔、田中 紘介、矢田 雅佳、本村 健太、増本 陽秀

一般演題②

レンバチニブ2

【司 会】河田 則文 (大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学)

- OS2-1 レンバチニブ治療後の血清 IGFBP-1 上昇は肝細胞癌のレンバチニブ耐性・予後不良に関与する
¹ 久留米大学内科学講座 消化器内科部門、² 医療法人岩本内科医院
○鈴木 浩之¹、岩本 英希^{1,2}、中村 徹¹、増田 篤高¹、阪上 尊彦¹、田中 俊光¹、新関 敬¹、岡村 修祐¹、城野 智毅¹、下瀬 茂男¹、野田 悠¹、蒲池 直紀¹、黒松 亮子¹、古賀 浩徳¹、鳥村 拓司¹

- OS2-2 Lenvatinib 治療は、Sorafenib 治療より Child-Pugh A・mALBI 2b の進行肝癌症例の肝機能を悪化させる
¹ 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科、² 山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学
○佐伯 一成¹、山内 由里佳¹、田邊 規和¹、大野 高嗣¹、石川 剛¹、高見 太郎¹、山崎 隆弘²、坂井田 功¹

- OS2-3 肝細胞癌に対して Lenvatinib 投与経過中に放射線治療併用を行った4症例の検討
¹ 虎の門病院肝臓センター 内科、² 虎の門病院肝臓センター 外科、³ 虎の門病院 放射線治療科
○重光 章鈞¹、川村 祐介¹、小林 正宏¹、富永 理人³、進藤 潤一²、大久保 悟志²、村石 望¹、藤山 俊一郎¹、保坂 哲也¹、斎藤 聡¹、瀬崎 ひとみ¹、芥田 憲夫¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、池田 健次¹、小塚 拓洋³、橋本 雅司²、熊田 博光¹

第2会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 11:02 ~ 11:20

一般演題③

レンバチニブ3

【司 会】 調 憲 (群馬大学大学院医学研究科 総合外科学講座 肝胆膵外科学分野)

- OS3-1 腫瘍血管変化に注目した実臨床におけるレンバチニブの血管新生阻害作用の特徴
¹ 虎の門病院肝臓センター 内科、² 虎の門病院肝臓センター 外科
○村石 望¹、川村 祐介¹、小林 正宏¹、進藤 潤一²、大久保 悟志²、藤山 俊一郎¹、保坂 哲也¹、
斎藤 聡¹、瀬崎 ひとみ¹、芥田 憲夫¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、橋本 雅司²、
熊田 博光¹
- OS3-2 Lenvatinib+TACE により Conversion 肝切除が可能となった肝細胞癌の1例
徳島大学 消化器移植外科学
○寺奥 大貴、齋藤 裕、島田 光生、森根 裕二、池本 哲也、山田 眞一郎、宮崎 克己
- OS3-3 高度進行肝細胞癌に対するレンバチニブ治療後の7症例に対する肝切除の経験
東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科学 人工臓器移植外科
○有田 淳一、市田 晃彦、真木 治文、長田 梨比人、三原 裕一郎、河口 義邦、石沢 武彰、
赤松 延久、金子 順一、長谷川 潔

第2会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 11:20 ~ 11:38

一般演題④

レンバチニブ4

【司 会】 名越 澄子 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

- OS4-1 切除不能進行肝癌に対する分子標的治療薬の腎機能に与える影響
長崎大学 消化器内科
○佐々木 龍、福島 真典、原口 雅史、本田 琢也、三馬 聡、宮明 寿光、中尾 一彦
- OS4-2 肝細胞癌における高齢者に対する分子標的薬治療成績の検討
富山大学医学部 第三内科
○村山 愛子、田尻 和人、林 有花、安田 一郎
- OS4-3 非ウイルス性肝疾患を背景とした肝細胞癌における TKI 治療の検討
¹ 自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門、² 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、
³ 京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科学、⁴ 静岡県立静岡がんセンター IVR 科
○渡邊 俊司¹、森本 直樹¹、三浦 光一¹、津久井 舞未子¹、高岡 良成¹、野本 弘章¹、
前田 浩史¹、佐藤 直人¹、五家 里栄¹、小林 和史²、小笠原 定久²、瀬古 裕也³、
森口 理久^{3,4}、佐藤 壘⁴、新楨 剛⁴、岩井 健司⁴、加藤 直也²、磯田 憲夫¹、山本 博徳¹

第2会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 11:38 ~ 11:56

一般演題⑤

レンバチニブ5

【司 会】 西口 修平 (加納総合病院)

- OS5-1 分子標的治療薬投与中の骨格筋量変化— Sorafenib と Lenvatinib の比較—
¹ 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、² 山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学
○山内 由里佳¹、佐伯 一成¹、田邊 規和¹、大野 高嗣¹、石川 剛¹、高見 太郎¹、山崎 隆弘²、
坂井田 功¹

OS5-2 肝細胞癌合併肝疾患症例に対する Lenvatinib 投与にけるレボカルニチンの有用性
～骨格筋と心機能の保護作用～

¹ 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、² 東邦大学薬学部 病態生化学

○天沼 誠¹、永井 英成¹、向津 隆規¹、毛利 州秀¹、渡邊 剛¹、小林 康次郎¹、松井 太吾¹、
吉峰 尚幸¹、荻野 悠¹、松井 哲平¹、大道 泰子¹、和久井 紀貴¹、靱山 浩一¹、松貝 孝慈²、
五十嵐 良典¹

OS5-3 レンバチニブによるサルコペニア進行～カルニチン補充療法の有用性～

順天堂大学練馬病院 消化器内科

○大久保 裕直、石塚 敬、斉藤 紘昭

第 2 会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 12:00 ~ 12:50

ランチョンセミナー③

共催：日本イーライリリー株式会社

肝癌薬物療法のシーケンス

【司 会】古瀬 純司 (杏林大学医学部 腫瘍内科学)

LS3-1 進行肝細胞癌における最新の薬物治療戦略—先を見据えた治療選択の重要性—

千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、千葉大学医学部附属病院 臨床研究開発推進センター

○小笠原 定久

LS3-2 VEGF 系シグナル制御の意義：基礎医学的見地から考える肝癌薬物療法への応用

大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野

○高倉 伸幸

第 2 会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 13:00 ~ 13:50

ランチョンセミナー④

共催：バイエル薬品株式会社

高齢化する HCC 患者の実情—これからの個別化治療戦略—

【司 会】工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

LS4-1 個別化治療における最適な MTA の使い分け

九州がんセンター 消化器・肝胆膵内科

○杉本 理恵

LS4-2 分子標的薬が腎機能に及ぼす影響

慶應義塾大学医学部 泌尿器科

○大家 基嗣

第 2 会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 14:20 ~ 14:44

一般演題⑥

アテゾリズマブ 1

【司 会】大崎 往夫 (医療法人明和病院 内科)

OS6-1 薬物療法既治療例を含む切除不能肝癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の
初期治療成績

¹ 徳島大学病院 消化器内科学、² 香川大学病院 消化器神経内科学

○友成 哲¹、谷 丈二²、田中 宏典¹、田中 貴大¹、谷口 達哉¹、森下 朝弘²、正木 勉²、
高山 哲治¹

OS6-2 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ / ベバシズマブ併用療法の初期治療成績
¹大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学、²市立池田病院 消化器内科、³大阪警察病院 消化器内科、
⁴大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、⁵国立病院機構大阪医療センター 消化器内科、⁶JCHO 大阪病院 消化器内科、
⁷関西労災病院 消化器内科、⁸大阪急性期・総合医療センター 消化器内
○前阪 和城¹、阪森 亮太郎¹、山田 涼子¹、田畑 優貴¹、小玉 尚宏¹、疋田 隼人¹、今井 康陽²、
尾下 正秀³、大川 和良⁴、三田 英治⁵、伊藤 敏文⁶、萩原 秀紀⁷、薬師神 崇行⁸、巽 智秀¹、
竹原 徹郎¹

OS6-3 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の初期治療効果と安全性の
検討
広島大学病院 消化器・代謝内科
○河岡 友和、安藤 雄和、鳴戸 謙輔、網岡 慶、小坂 祐未、内川 慎介、中原 隆志、村上 英介、
今村 道雄、相方 浩

OS6-4 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の初期治療経験
金沢大学附属病院 消化器内科肝臓センター
○荒井 邦明、寺島 健志、高田 昇、堀井 理和、山下 竜也、金子 周一

第2会場（2F 多目的会議室およびオンライン） 14:44 ~ 15:08

一般演題⑦

アテゾリズマブ 2

【司 会】島田 光生（徳島大学病院 消化器・移植外科）

OS7-1 Atezolizumab+Bevacizumab 併用療法の初期治療成
京都大学医学部附属病院 消化器内科
○恵莊 裕嗣、中野 重治、三嶋 眞紗子、井口 恵里子、竹田 治彦、高井 淳、高橋 健、妹尾 浩

OS7-2 当院における切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の初期使用経験
武蔵野赤十字病院 消化器科
○早川 優香、土谷 薫、安井 豊、稲田 賢人、桐野 桜、山下 洸司、武藤 智弘、関口 修平、
大澤 玲於奈、樋口 麻友、高浦 健太、前屋舗 千明、金子 俊、玉城 信治、中西 裕之、
板倉 潤、高橋 有香、黒崎 雅之、泉 並木

OS7-3 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ療法の施行経験
埼玉医科大学病院
○山羽 晋平、菅原 通子、今井 幸紀、浅見 真衣子、藤井 庸平、内田 義人、打矢 紘、
中澤 学、中山 伸朗、富谷 智明、持田 智

OS7-4 当院における切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の初期投与経験
¹大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学、²大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学、
³大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学
○小田桐 直志¹、萩原 淳司¹、吉田 香奈子¹、小谷 晃平¹、元山 宏行¹、小塚 立蔵¹、
木村 健二郎²、川村 悦史¹、藤井 英樹³、打田 佐和子¹、田中 肖吾²、天野 良亮²、榎本 大¹、
竹村 茂一²、田守 昭博¹、久保 正二²、河田 則文¹

一般演題⑧

アテゾリズマブ3

【司 会】寺井 崇二（新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野）

- OS8-1 分子標的薬不成功の進行肝細胞癌に対する Atezolizumab/Bevacizumab 併用療法の初期治療効果と安全性
和歌山ろうさい病院 肝臓内科
○岡村 順平、玉井 秀幸
- OS8-2 Atezolizumab + Bevacizumab は二次治療以降では治療奏功性が一次治療よりも劣る可能性がある
東京大学医学部附属病院 消化器内科
○山田 友春、建石 良介、森山 慎、福本 剛、中塚 拓馬、南 達也、佐藤 雅哉、榎奥 健一郎、中川 勇人、小池 和彦
- OS8-3 当院におけるアテゾリズマブ・ベバシズマブ療法の経験について
島根大学医学部附属病院 肝臓内科
○片岡 祐俊、矢崎 友隆、飛田 博史
- OS8-4 進行肝細胞癌に対するテセントリク、アバスチン併用療法の初期治療経験からの検討
富山大学医学部 第三内科
○田尻 和人、村山 愛子、林 有花、安田 一朗
- OS8-5 実臨床における進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の初期治療成績
¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²千葉大学医学部附属病院 臨床研究開発推進センター
○中川 美由貴¹、小笠原 定久^{1,2}、石野 貴雅¹、小川 慶太¹、藤原 希彩子¹、宇野澤 秀美¹、藤田 尚人¹、岩永 光巨¹、佐久間 崇文¹、興梠 慧輔¹、神崎 洋彰¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、叶川 直哉¹、齋藤 朋子¹、近藤 孝行¹、中本 晋吾¹、千葉 哲博¹、加藤 順¹、加藤 直也¹

一般演題⑨

アテゾリズマブ4

【司 会】上野 義之（山形大学医学部 内科学第二講座）

- OS9-1 アテゾリズマブ、ベバシズマブの初期使用経験と早期中止症例の検討
山形大学医学部 内科学第二講座
○榎 慶太、奥本 和夫、仁科 武人、勝見 智大、星川 恭子、芳賀 弘明、上野 義之
- OS9-2 当院でのアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の経験
自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門
○野本 弘章、森本 直樹、渡邊 俊司、前田 浩史、五家 里栄、高岡 良成、津久井 舞末子、佐藤 直人、上野 航、三浦 光一、磯田 憲夫、山本 博徳
- OS9-3 TKI 前治療歴のある進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブの初期使用経験
¹九州がんセンター、²小倉医療センター、³福岡市民病院、⁴飯塚病院、⁵九州大学病態制御内科
○杉本 理恵¹、佐藤 丈顕²、上田 哲弘³、稲田 浩気¹、山下 晋作²、樋口 野日斗³、田中 ゆき¹、千住 猛士¹、桑野 哲史⁴、本村 健太⁴、国府島 庸之⁵

OS9-4 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の初期使用経験

¹明和病院 内科、²明和病院 外科

- 西島 規浩¹、南堂 吉紀¹、坂井 良行¹、深田 学史¹、小谷 美央¹、芝 俊成¹、川添 智太郎¹、
黒河内 和貴¹、岸 清彦¹、中島 隆善²、生田 真一²、相原 司²、大崎 往夫¹、山中 若樹²

第2会場（2F 多目的会議室およびオンライン） 16:02～16:20

一般演題⑩

アテゾリズマブ 5

【司 会】田中 正俊（社会医療法人恵弘会 ヨコクラ病院 肝臓内科・臨床研究センター）

OS10-1 肝がんに対する Atezo+Beva 後に、EUS-FNA による生検および FACS で
Hyperprogressive Disease と診断し得た 1 例

¹鹿児島市立病院 消化器内科、²鹿児島市立病院 腫瘍内科、³鹿児島大学病院 消化器内科

- 玉井 努¹、岩下 祐司¹、中澤 潤一²、橋口 正史¹、室町 香織¹、堀 剛¹、坪内 博仁¹、
田上 史郎³、馬渡 誠一³、井戸 章雄³

OS10-2 切除不能肝臓癌に対する Atezolizumab, Bevacizumab 使用患者における造影超音波検査での
早期効果判定

山梨大学医学部附属病院 第一内科

- 高田 ひとみ、鈴木 雄一朗、小宮山 泰之、加藤 亮、中嶋 奈津子、松田 秀哉、村岡 優、
辰巳 明久、中山 康弘、井上 泰輔、前川 伸哉、榎本 信幸

OS10-3 ¹⁸F-FDG-PET/CT 検査所見からみた切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ
併用療法の初期治療成績

¹虎の門病院肝臓センター 内科、²虎の門病院肝臓センター 外科

- 川村 祐介¹、小林 正宏¹、進藤 潤一²、大久保 悟志²、村石 望¹、藤山 俊一郎¹、保坂 哲也¹、
斎藤 聡¹、瀬崎 ひとみ¹、芥田 憲夫¹、鈴木 文孝¹、鈴木 義之¹、荒瀬 康司¹、橋本 雅司²、
熊田 博光¹

第2会場（2F 多目的会議室およびオンライン） 16:30～16:48

一般演題⑪

ラムシルマブ

【司 会】熊田 卓（大垣総合学園 岐阜協立大学 看護学部科）

OS11-1 肝細胞癌に対するラムシルマブ併用 TACE の初期経験

大阪赤十字病院 消化器内科

- 喜多 竜一、中西 梨沙、網野 遥、坂本 梓、米門 秀行、木村 達、丸澤 宏之

OS11-2 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ後のラムシルマブの初期治療成績

藤田医科大学 消化器内科

- 葛谷 貞二、川部 直人、廣岡 芳樹

OS11-3 進行肝細胞癌に対するラムシルマブの使用経験

国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科・臨床研究センター

- 和田 幸之、高見 裕子、龍 知記、佐々木 晋、才津 秀樹

一般演題⑫

レゴラフェニブ + 予後

【司 会】長谷川 潔 (東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科)

OS12-1 免疫チェックポイント阻害薬治療時代のレゴラフェニブ導入の意義

¹ 香川大学医学部 消化器神経内科、² 香川県立中央病院 肝臓内科、³ 三豊総合病院 肝臓内科、
⁴ 香川労災病院 肝臓内科、⁵ 高松赤十字病院 肝臓内科

○谷 丈二¹、永野 拓也²、守屋 昭男³、出口 章広⁴、小川 力⁵、琢磨 慧¹、中原 麻衣¹、
大浦 杏子¹、田所 智子¹、藤田 浩二¹、森下 朝洋¹、筒井 朱美²、妹尾 知典²、高口 浩一²、
正木 勉¹

OS12-2 進行肝細胞癌に対する薬物療法における外科治療の役割

¹ 九州大学大学院 消化器・総合外科、² 東海大学医学部

○伊藤 心二¹、吉住 朋晴¹、利田 賢哉¹、富山 貴央¹、森永 哲成¹、小斉 侑希子¹、富野 高広¹、
栗原 健¹、長尾 吉泰¹、森田 和豊¹、原田 昇¹、森 正樹^{1,2}

OS12-3 進行肝細胞癌の脈管浸潤進展における治療効果判定基準の改定の必要性

¹ 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、² 千葉大学医学部附属病院 臨床研究開発推進センター

○宇野澤 秀美¹、小笠原 定久^{1,2}、小林 和史^{1,2}、石野 貴雅¹、小川 慶太¹、藤原 希彩子¹、
中川 美由紀¹、岩永 光巨¹、藤田 尚人¹、佐久間 崇文¹、興梠 慧輔¹、神崎 洋彰¹、
中村 昌人¹、清野 宗一郎¹、叶川 直哉¹、近藤 孝行¹、中本 晋吾¹、千葉 哲博¹、加藤 順¹、
加藤 直也¹

一般演題⑬

基礎 1

【司 会】加藤 直也 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)

OS13-1 多段階発癌におけるミスマッチ修復異常関連体細胞変異シグネチャーの抽出

¹ 京都大学大学院医学研究科 消化器内科学、² 京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科学、
³ 大阪赤十字病院消化器内科、⁴ 東京大学医学系研究科 人類遺伝学

○竹田 治彦¹、高井 淳¹、恵荘 裕嗣¹、高橋 健¹、田浦 康二郎²、波多野 悦朗²、喜多 竜一³、
丸澤 宏之³、藤本 明洋⁴、妹尾 浩¹

OS13-2 Digital Spatial Profiling 技術によるレンパチニブ投与後の腫瘍内免疫微小環境変化の検討

東京大学医学部附属病院 消化器内科

○山田 友春、中川 勇人、松下 祐紀、和気 泰次郎、木下 瑞希、中込 良、中塚 拓馬、南 達也、
佐藤 雅哉、榎奥 健一郎、建石 良介、小池 和彦

OS13-3 MSI-High に焦点を当てた進行肝細胞癌における腫瘍微小環境の解析

¹ 千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、² 千葉大学医学部附属病院 臨床研究開発推進センター、
³ 千葉大学大学院医学研究院 分子ウイルス学、⁴ 千葉大学大学院医学研究院 診断病理学、
⁵ 千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

○神崎 洋彰¹、小笠原 定久^{1,2}、宇野澤 秀美¹、佐久間 崇文¹、藤田 尚人¹、興梠 慧輔¹、
小林 和史^{1,2}、叶川 直哉¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、近藤 孝行¹、齋藤 朋子¹、中川 良¹、
室山 良介³、中本 晋吾¹、千葉 哲博¹、加藤 順¹、池田 純一郎⁴、大塚 将之⁵、加藤 直也¹

OS13-4 アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における治療効果を予測するバイオマーカーの探索

がん・感染症センター都立駒込病院 肝臓内科

○木村 昌倫、久保田 翼、今村 潤、木村 公則

第2会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 17:46 ~ 18:16

一般演題^⑭

基礎2

【司 会】 緑川 泰 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター・病院 総合外科部)

OS14-1 進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の早期治療効果予測における Diffusion Weighted Imaging の有用性の評価

¹東京医科大学病院 消化器内科、²東京医科大学病院 放射線科、³東京医科大学病院 画像診断部

○掛川 達矢¹、杉本 勝俊¹、斎藤 和博²、荒木 洋一³、高橋 宏史¹、富田 裕介¹、阿部 正和¹、吉益 悠¹、竹内 啓人¹、糸井 隆夫¹

OS14-2 各種分子標的薬が肝癌細胞 TLR シグナル伝達経路に与える影響に関して

日本大学医学部 内科学系消化器肝臓内科学分野

○神田 達郎、佐々木 玲奈、松本 直樹、増崎 亮太、石井 大雄、藤澤 真理子、本田 真之、熊川 まり子、金澤 芯依、山名 陽一郎、水谷 卓、楡井 和重、小川 真広、黒田 和道、森山 光彦

OS14-3 ABCG2 遺伝子多型はレンバチニブ治療の PK/PD に影響を与える

¹順天堂大学練馬病院 消化器内科、²金沢大学医薬保健研究域 医学系細胞分子機能学

○大久保 裕直¹、石塚 敬¹、斉藤 紘昭¹、安藤 仁²

第2会場 (2F 多目的会議室およびオンライン) 18:20 ~ 19:10

教育セミナー

共催：インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社

【司 会】 森山 光彦 (日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野)

肝内胆管癌に対する新たな個別化治療戦略

千葉大学大学院研究院消化器内科学

○加藤 直也

第3会場 (2F 205+206 およびオンライン) 10:20 ~ 10:52

一般演題^⑮

症例報告1

【司 会】 大久保 裕直 (順天堂大学練馬病院 消化器内科)

OS15-1 レンバチニブ投与後のまれな合併症2例

群馬大学大学院 総合外科学講座 肝胆膵外科学分野

○播本 憲史、石井 範洋、塚越 真梨子、五十嵐 隆通、渡辺 亮、久保 憲生、新木 健一郎、調 憲

OS15-2 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ投与後早期に食道静脈瘤出血をきたした1例

山形大学医学部附属病院 第二内科

○野上 健、奥本 和夫、芳賀 弘明、星川 恭子、勝見 智大、仁科 武人、槇 慶太

OS15-3 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の施行中に副腎機能不全を発症した1症例

¹熊本大学大学院 消化器内科学、²熊本市健康福祉局・病院局、熊本市立熊本市市民病院 消化器内科

○田中 健太郎¹、稲田 浩気¹、蔵野 宗太郎¹、檜原 哲史¹、徳永 堯之¹、川崎 剛¹、長岡 克弥¹、吉丸 洋子¹、渡邊 丈久¹、瀬戸山 博子¹、立山 雅邦¹、田中 基彦²、田中 靖人¹

OS15-4 肝切除を施行後集学的治療にて長期生存が得られている G-CSF 産生肝細胞癌の 1 例

北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 I

○坂本 讓、神山 俊哉、旭 火華、長津 明久、島田 慎吾、折茂 達也、柿坂 達彦、蒲池 浩文、
武富 紹信

第 3 会場 (2F 205+206 およびオンライン) 10:52 ~ 11:32

一般演題⑩

症例報告 2

【司 会】日高 央 (北里大学 消化器内科学)

OS16-1 再発進行肝細胞癌に対して 5 次化学療法まで施行した 1 例

高根大学医学部附属病院 肝臓内科

○矢崎 友隆、片岡 祐俊、飛田 博史

OS16-2 切除不能進行肝細胞癌に対して Atezolizumab + Bevacizumab 不応後に

Lenvatinib を投与した症例の検討

広島大学病院 消化器・代謝内科

○網岡 慶、河岡 友和、小坂 正成、上平 祐輔、白根 佑樹、三浦 俊一、村上 せらみ、
矢野 成樹、鳴戸 謙輔、安藤 雄和、小坂 祐未、内川 慎介、藤野 初江、中原 隆志、
村上 英介、山内 理海、今村 道雄、相方 浩

OS16-3 レンバチニブを先行投与し Conversion surgery を行った初発肝細胞癌の一例

国立病院機構長崎医療センター 肝臓内科・臨床研究センター

○釘山 有希、田島 和昌、戸次 鎮宗、末廣 智之、佐伯 哲、長岡 進矢、阿比留 正剛、
山崎 一美、小森 敦正、八橋 弘

OS16-4 超高齢者におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法が有用であった肝細胞癌の 1 例

川崎医科大学 肝胆膵内科学

○大海 宏暢、富山 恭行、吉岡 奈穂子、仁科 惣治、日野 啓輔

OS16-5 Atezolizumab+Bevacizumab 奏効後根治的に TACE を追加した一例

京都大学医学部附属病院 消化器内科学

○恵荘 裕嗣、中野 重治、三嶋 眞紗子、井口 恵里子、竹田 治彦、高井 淳、高橋 健、妹尾 浩